

日 誌 (昭和60年 9 月)

【国 内】

- | | |
|---|--|
| <p>2日 ○引受証券会社、事業債の発行条件を改定</p> <p>10日 ○大蔵省、61年度一般会計予算および財政投融资計画に関する概算要求を閣議に報告</p> <p>11日 ○大蔵省、預入金額が10億円以上の期間の定めがある預金の金利を臨時金利調整法告示の適用除外とする旨公告</p> <p>12日 ○大蔵省、CD、MMCの発行枠拡大に関する銀行局長通達を发出</p> <p>17日 ○短資会社、2週間物および3週間物の無担保コール取引を開始</p> <p>20日 ○大蔵省、商工中金に対し、国債等公共債の窓販業務を認可</p> | <p>26日 ○大蔵省、信託、農中、全信連および生保向けに超長期(15年)変動利付国債を発行</p> <p>27日 ○国債引受証券団、外国証券1社を、シ団メンバーとして受入れることを決定</p> <p>○長期信用銀行等、長期貸出最優遇金利の引下げを発表</p> <p>○長期信用銀行等、金融債(10月債)の発行条件改定を発表</p> <p>○信託銀行等、貸付信託予想配当率および合同運用指定金銭信託予定配当率引下げを発表</p> <p>30日 ○政府、長期国債の発行条件を改定</p> |
|---|--|

【海 外】

- | | |
|---|--|
| <p>2日 ○英国、内閣改造を実施</p> <p>○香港、預貸金金利を引上げ</p> <p>4日 ○フランス経済財政予算省、短期金融市場改革案を発表</p> <p>○インドネシア、輸出振興低利融資の対象を拡大</p> <p>5日 ○フランス、対外直接投資に係る外貨借入比率規制を緩和</p> <p>○韓国、内需刺激策を発表</p> <p>○インドネシア、外銀活動規制を緩和</p> <p>12日 ○タイ、86年度(85/10月~86/9月)予算が成立</p> | <p>17日 ○台湾、公定歩合および市中金利を引下げ</p> <p>○マレーシア、投資基金を設立</p> <p>18日 ○フランス政府、1986年度予算案を閣議決定</p> <p>22日 ○主要先進5か国大蔵大臣・中央銀行総裁会議、コミュニケを発表</p> <p>23日 ○レーガン大統領、新通商政策(「大統領通商政策行動計画」)を発表</p> <p>27日 ○韓国、86年度予算案を閣議決定</p> <p>28日 ○イタリア政府、86年度予算案を閣議決定</p> |
|---|--|